ASEAN諸国の大学に向けて講義を行いました！

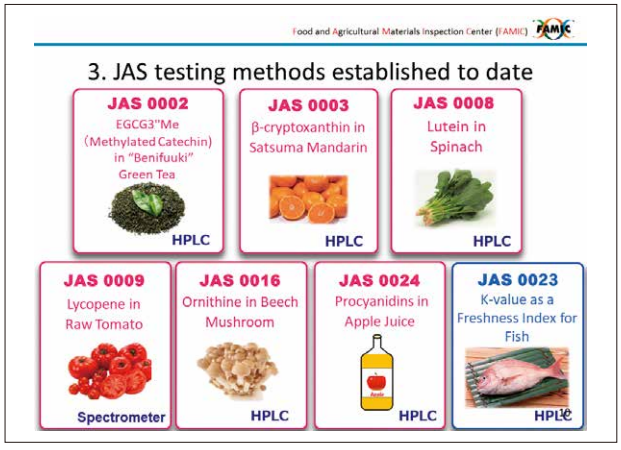
ASEAN諸国の連携大学で専門講座を実施し、農業・食品産業人材育成を促進

FAMIC試験規格調査課は、例年ASEAN諸国の学生や大学関係者などに向けて、講義を行っています。この講義は、農業・食品産業等に関する日本のノウハウを伝え、現地での企業の担い手を育成することなどを目的とした、農林水産省の「アセアン地域の大学と連携した農業・食品産業人材育成促進・活用事業」の一環として行われているものです。

事業では、ASEAN諸国の農業・食品系の主要な大学に寄附講座を開設し、現地の学生や企業などに、ODA（政府開発援助）として講義を提供しています。講師はFAMIC職員のほか、日本の食品企業などの専門家が務めています。寄附講座のプログラムには、種苗生産から食品加工、消費に至るまでの流通工程における、付加価値のつながり「フードバリューチェーン」に関するものや、我が国の規格・認証に関するものなどがあります。この取組により、日本とASEAN諸国との友好関係が強化されるほか、人材の育成により現地のフードバリューチェーンが整備され、日本産品の輸出などについても協力関係が広がることが期待されています。

寄附講座とFAMIC

FAMICは、「我が国の規格・認証に関するプログラム」の専門講座の一つ、食品分析に関する専門講座の中でいくつかの講義を担当しています。JAS（日本農林規格）の中には、農林水産物や食品の試験の方法を定めた「試験方法JAS」というものがあります。FAMICの講義は、この「試験方法JAS」をテーマに、分析方法の検討に必要とされる技術的な情報などを伝えています。



試験方法JASを紹介する講義スライド

ASEAN事務局から授与された感謝状

FAMICは、2015年から農林水産省に協力して講義を行っており、2021年からは、Web会議システムを通じてオンラインでの講義を行っています。

2022年にはベトナム、インドネシアなど6カ国に向けて講義を行い、ASEAN事務局から感謝状を授与されました。

2023年もタイ、カンボジアなど5カ国に向けて講義を行いました。

この記事では、そのうちマレーシアのプトラマレーシア大学に向けて行った講義についてご紹介します。

プトラマレーシア大学での講義（2023年9月19日～22日実施）

マレーシアでの食品分析に関する専門講座では、日本のJASや機能性表示食品に関する講義など、計8種類の講義が行われました。

FAMICは、7つの試験方法JASの概要を紹介する講義や、「JAS0024 りんごジュース中のプロシアニジン類の定量－高速液体クロマトグラフ法」を詳しく紹介する講義を行いました。JAS0024の講義では、JASが制定された背景や分析の手順、行った検討などについて、試験方法を解説した動画も活用しながら説明しました。受講した学生からは、混濁タイプのりんごジュースは分析できるか？などの質問がありました。講義を担当した職員は、混濁のもとはりんごの微細な食物繊維などで、フィルターろ過して除くことができること、また使用できるフィルターの種類やろ過の方法などを、丁寧に説明しました。

FAMICのオンライン講義の様子

JAS0024 りんごジュース中のプロシアニジン類の定量－高速液体クロマトグラフ法

内臓脂肪を減らす作用などについての報告がある、機能性成分「プロシアニジン類」の、りんごジュース中の含有量の測定に必要な事項を定めた試験方法JASです。詳しくは、本誌のバックナンバー記事をご覧ください。

大きな目小さな目2022秋号No.70 4-5ページ
http://www.famic.go.jp/public_relations_magazine/kouhoushi/back_number/202210-70.pdf#page=4

現地での分析実習を行う滝沢氏

現地では、JAS0024の分析実習も行われました。講師は、JAS検討時のプロジェクトチームメンバーを務めた、一般社団法人 長野県農村工業研究所の滝沢 潤氏、同じくプロジェクトチームメンバーで、JAS0024の基となる方法を開発した国立研究開発法人 農業・食品産業技術総合研究機構の庄司 俊彦氏らが担当しました。

受講生からは、専門講座を通じて「得られた知識や技術を今後の研究に生かしたい。」「機能性成分についてもっと知りたくなった。」などの感想が寄せられました。

NEWS

日本果汁協会賞 技術賞を受賞しました！
～プロシアニジン類試験方法のJAS化～

FAMIC職員2名が、(一社)長野県農村工学研究所の滝沢 潤氏らと共に、日本果汁協会賞 技術賞を受賞しました。

2022年度の果汁技術研究発表会において、滝沢氏が代表で行った発表「りんごジュースの機能性表示食品の開発とプロシアニジン分析法の標準化」が、果実飲料工業の科学的及び技術的進歩に顕著な功績として認められ、FAMIC職員も共同研究者としてこの賞を受賞しました。